

# ストマトロジー(全身口腔医学)入門 (李 昌一)

Introduction to Stomatology (Masaichi Lee)

## キーワード

- ①ストマトロジー
- ②口腔関連全身疾患
- ③口腔ケア
- ④口腔機能
- ⑤臨床歯科栄養療法

関連する学位授与方針  
DP(ディプロマポリシー)

①,②,⑤

関連する教育実施方針  
CP(カリキュラムポリシー)

①,②,⑤

## 授業概要

ストマトロジー(Stomatology)は、ギリシャ語の「stoma(口)」に由来し、口腔だけでなく、関連する頭頸部や全身との関わりを含む広範な口腔医学の学問領域を指します。ストマトロジーの特性は、すでに検査・診断・治療学・基礎医学の専門性を包含しており、これを基盤として「口腔の健康と全身の健康の接点」に関する必要な基本的知識を身につける。特に、(1)ストマトロジーの歴史と現状を認識する。(2)ストマトロジーを実践するための歯周病菌が糖尿病、心血管疾患、がん、アルツハイマー病などに与える影響、全身疾患を持つ患者に対する歯科薬物療法や歯科処置、口腔機能に依存したブドウ糖負荷の上昇やタンパク質低栄養などに関連した臨床歯科栄養学、などの新たなエビデンス、地域医療連携、多職種協働の重要性について理解を深める。(3)ストマトロジーに最も関連する関連疾患の定義、疫学、病因と病態、分類、症状、医療・療育、口腔の特徴、関連疾患に対する口腔ケア、口腔機能、口腔関連全身疾患検査について修得し、臨床研究を検討する能力の基本を養成することを目的として開講する。

## 授業科目の学修目標

ストマトロジーではストマトロジーを担うリーダーとして、ストマトロジーに関する基本的事項を体系的に身につける。ストマトロジーは口腔医学に関わるすべての職種が理解する必要がある。本科目ではストマトロジーに関連する問題を発見し、その解決に寄与する研究方法の立案をするため必要な知識を修得することを目標とする。

## 授業計画

- ①ストマトロジーの意義と基本的事項
  - ・ストマトロジーの歴史と研究の変遷 2コマ 李 昌一
  - ・口腔関連全身疾患、口腔ケア、口腔機能、薬物療法の基本的事項 8コマ 李 昌一
- ②ストマトロジー疫学研究に関連する倫理指針と個人情報の保護 4コマ 小松知子
- ③ストマトロジー的な研究の視点と実際
  - ・口腔関連全身疾患と検査 4コマ 李 昌一
  - ・口腔ケア 2コマ 李 昌一
  - ・口腔機能検査 2コマ 李 昌一
  - ・摂食嚥下療法 4コマ 小松知子
  - ・臨床歯科栄養学 4コマ 李 昌一

## 教科書および参考書

配布資料

## 履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

ストマトロジーに関する大学歯学部卒業レベルの予備知識が要求される。また、国内外の原著論文や総説論文を熟読し、その内容を理解する能力が求められる。

## 大学院生が達成すべき行動目標

- ①ストマトロジーの意義と基本的事項を説明できる。
- ②ストマトロジー領域の倫理規範を理解し、応用できる。
- ③ストマトロジー的な研究の視点を理解し、批判的に吟味できる。

## 評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	その他
30%	0%	0%	0%	40%	30%	0%

## 評価の要点

- ・試験は、授業計画で行った講義の知識の理解度を判定する。1回30%
- ・ポートフォリオは、ストマトロジー的な研究の視点についてweb資料を含めた学修資料、ノートを提出し、確認・評価する。10%×4回=40%
- ・口頭試問は、授業終了後毎回行い知識の理解度を判定する。1%×30回=30%

## 理想的な達成レベルの目安

理想的な達成レベルは80%以上とする。特に、倫理的な事項に関しては100%の理解を求める。